

① 以下の文章を読みながら「さ・し・す・せ・そ」に○(まる)をつけてください。

きんねん、しんこうげいじゅつのなにおいていくたのぶんげいう
んどうがこころみられてきたが、いたずらにひそうのしんきをおう
ほかになすところをしらなかつた。じゅうらいいくたのかくのごと
きしん(?)ぶんがくうんどうのかんぜんなしっぱいは、「あたら
しさ」をあやまらしめ、どうじにぶんがくをよぎらしめた。

わたしのかんがえによれば、げいじゅつははんぱつせいしんのあ
らわれであり、じだいそうぞうてきなはげしいしによってなさる
べきものであるとおもわれるにかかわらず、さいきんにほんぶんが
くのあたらしいけいこうは、ろうじんのしゅみにいちすることをも
っともじゅんすいとみなし、もっともむきりよくな、じいてきな
にんげんたんきゅうによぎったこうふんをかんでいる。ふどうの
ものえいえんのものはずでにほろびている。われわれはへんかのな
かに、はってんのいちかていのなかに、はんぱつからそうぞうへむ
かうにんげんをたんきゅうしつくりつづけてゆかなければならな
い。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

さ	し	す	せ	そ
<input type="text"/>				

③ 何について書かれた文章でしたか?口頭で教えてください。

..... 折り線

【文章】仮名拾い(かなひろい) 課題プリント その9 - さ行編

答え ② さ:3 し:16 す:4 せ:1 そ:3

③ 文学について書かれた文章。など

文章の出典:

新らしき文学 - 坂口 安吾著
を平仮名に加工して作成